



11 カルバペネム系抗菌薬使用密度 (AUD : Antimicrobial use density) 各月平均値

(単位 : %)

	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度
AUD	9.2	9.0	7.1	5.5	5.7



○ AUD (Antimicrobial use density) 抗菌薬の使用状況に関する指標

特定の抗菌薬に使用が偏ると、その薬剤への耐性が獲得されやすくなる (=耐性菌が出現しやすくなる)。特に、広域抗菌薬 (多くの細菌に効果がある薬剤) の不適切な使用は、薬剤耐性菌の出現、感染症治療の失敗を招くため、当院ではこれら広域抗菌薬の使用密度 (AUD) を毎月算出し、確認。

重症患者の多寡によっても適正值は変動。したがって、具体的な目標値を設定する性質のものではなく、時系列で極端な上昇が見られないかを確認するための指標として使用。

※ AUD 算出方法 : 【カルバペネム系の抗菌薬使用量 (g)】 ÷ 【カルバペネム系抗菌薬の DDD (difend daily dose : それぞれの抗菌薬に WHO が設定した 1 日投与量) × 入院患者延べ日数】 × 1,000

※ カルバペネム系抗菌薬 : カルベニン、チエナム、メロペン、フィニバックス

※ カルベニン、チエナム、メロペン、フィニバックスのそれぞれ毎に AUD を算出、合計したものを各月の値とし、年度ごとに平均値を算出。